

結婚について

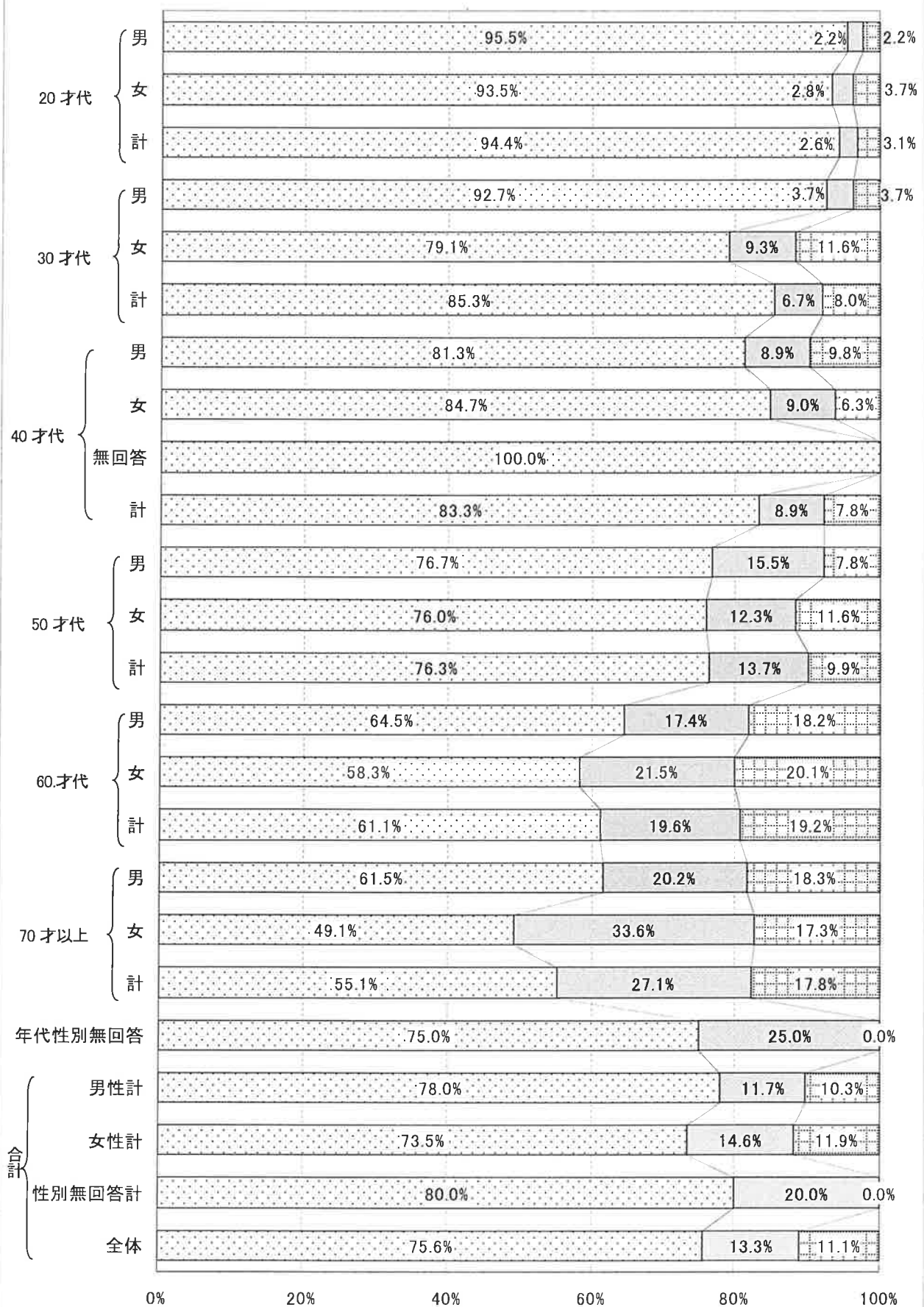
質問 15 結婚は、両性の合意により成立するのが当然ですが、被差別部落の人と被差別部落外の人との結婚について、あなたはどのように思いますか。

- 1 賛成する（結婚する）
- 2 反対する（結婚しない）

この質問は、被差別部落の人と被差別部落外の人との結婚にかかわって、その意思を問うている。

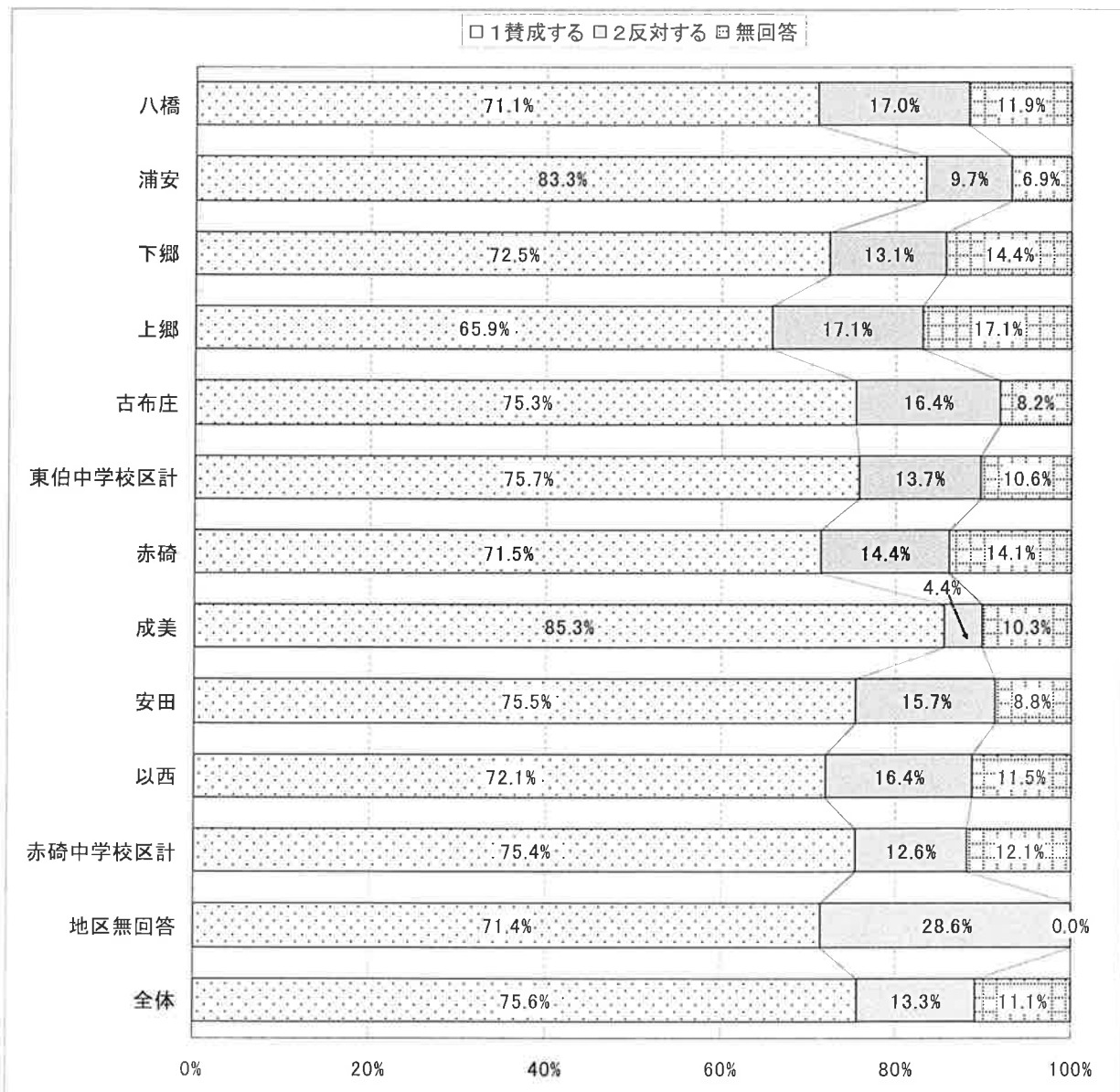
| | | 1. 賛成する | | 2. 反対する | | 無回答 | | 合計 |
|---------|--------|---------|--------|---------|-------|-----|-------|-------|
| | | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | |
| 20才代 | 男 | 85 | 95.5% | 2 | 2.2% | 2 | 2.2% | 89 |
| | 女 | 100 | 93.5% | 3 | 2.8% | 4 | 3.7% | 107 |
| | 計 | 185 | 94.4% | 5 | 2.6% | 6 | 3.1% | 196 |
| 30才代 | 男 | 101 | 92.7% | 4 | 3.7% | 4 | 3.7% | 109 |
| | 女 | 102 | 79.1% | 12 | 9.3% | 15 | 11.6% | 129 |
| | 計 | 203 | 85.3% | 16 | 6.7% | 19 | 8.0% | 238 |
| 40才代 | 男 | 91 | 81.3% | 10 | 8.9% | 11 | 9.8% | 112 |
| | 女 | 122 | 84.7% | 13 | 9.0% | 9 | 6.3% | 144 |
| | 無回答 | 1 | 100.0% | 0 | 0.0% | 0 | 0.0% | 1 |
| | 計 | 214 | 83.3% | 23 | 8.9% | 20 | 7.8% | 257 |
| 50才代 | 男 | 89 | 76.7% | 18 | 15.5% | 9 | 7.8% | 116 |
| | 女 | 111 | 76.0% | 18 | 12.3% | 17 | 11.6% | 146 |
| | 計 | 200 | 76.3% | 36 | 13.7% | 26 | 9.9% | 262 |
| 60才代 | 男 | 78 | 64.5% | 21 | 17.4% | 22 | 18.2% | 121 |
| | 女 | 84 | 58.3% | 31 | 21.5% | 29 | 20.1% | 144 |
| | 計 | 162 | 61.1% | 52 | 19.6% | 51 | 19.2% | 265 |
| 70才以上 | 男 | 64 | 61.5% | 21 | 20.2% | 19 | 18.3% | 104 |
| | 女 | 54 | 49.1% | 37 | 33.6% | 19 | 17.3% | 110 |
| | 計 | 118 | 55.1% | 58 | 27.1% | 38 | 17.8% | 214 |
| 年代性別無回答 | | 3 | 75.0% | 1 | 25.0% | 0 | 0.0% | 4 |
| 合計 | 男性計 | 508 | 78.0% | 76 | 11.7% | 67 | 10.3% | 651 |
| | 女性計 | 573 | 73.5% | 114 | 14.6% | 93 | 11.9% | 780 |
| | 性別無回答計 | 4 | 80.0% | 1 | 20.0% | 0 | 0.0% | 5 |
| | 合計 | 1,085 | 75.6% | 191 | 13.3% | 160 | 11.1% | 1,436 |

□ 1.賛成する □ 2.反対する □ 無回答



地区別

| | 1 賛成する | | 2 反対する | | 無回答 | | 合計 |
|---------|--------|-------|--------|-------|-----|-------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | |
| 八橋 | 192 | 71.1% | 46 | 17.0% | 32 | 11.9% | 270 |
| 浦安 | 240 | 83.3% | 28 | 9.7% | 20 | 6.9% | 288 |
| 下郷 | 116 | 72.5% | 21 | 13.1% | 23 | 14.4% | 160 |
| 上郷 | 27 | 65.9% | 7 | 17.1% | 7 | 17.1% | 41 |
| 古布庄 | 55 | 75.3% | 12 | 16.4% | 6 | 8.2% | 73 |
| 東伯中学校区計 | 630 | 75.7% | 114 | 13.7% | 88 | 10.6% | 832 |
| 赤碕 | 213 | 71.5% | 43 | 14.4% | 42 | 14.1% | 298 |
| 成美 | 116 | 85.3% | 6 | 4.4% | 14 | 10.3% | 136 |
| 安田 | 77 | 75.5% | 16 | 15.7% | 9 | 8.8% | 102 |
| 以西 | 44 | 72.1% | 10 | 16.4% | 7 | 11.5% | 61 |
| 赤碕中学校区計 | 450 | 75.4% | 75 | 12.6% | 72 | 12.1% | 597 |
| 地区無回答 | 5 | 71.4% | 2 | 28.6% | 0 | 0.0% | 7 |
| 全体 | 1,085 | 75.6% | 191 | 13.3% | 160 | 11.1% | 1,436 |



<分析>

- 全体では、「賛成する」が75.6%あり、「反対する」は13.3%である。これは、旧赤碕町調査〔平成14年(2002年)実施〕と比較すると、「賛成する」は1.5ポイント低く、「反対する」は5.0ポイント高い。
また、「無回答」は11.1%で、「反対する」13.3%と合わせて24.4%もあり、これからの課題といえる。
- 年代別では、「賛成する」がどの年代でも高い。しかし、年代が高くなるにつれてその割合は低くなり、「反対する」は70才以上で27.1%と最も高い。
- 男女別では、「賛成する」は男性が女性より4.5ポイント高く、「反対する」は女性が男性より2.9ポイント高い。
- 年代男女別では、「賛成する」は20才代男性の95.5%が年代男女中最も高く、同年代女性より2.0ポイント高い。30才代と70才以上では男女差が大きく、30才代男性92.7%は13.6ポイント、70才以上男性33.6%は13.4ポイントそれぞれ女性より高い。しかし、「賛成する」は各年代とも男性の方が高い中で、40才代だけが女性が84.7%と男性より3.4ポイント高い。
- 地区別では、どの地区とも「賛成する」が高く、成美地区の85.3%が最も高い。次いで、浦安地区の83.3%である。

【質問15（結婚についてどう思うか）と、質問4（因習・迷信）との関連】

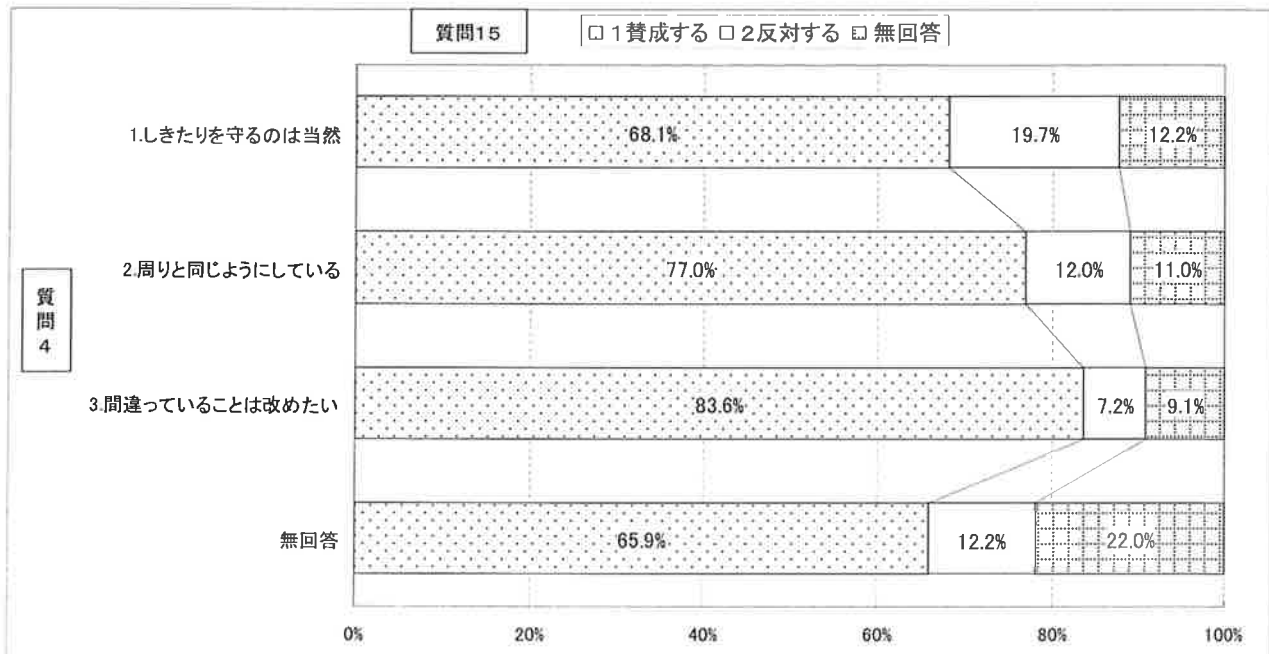
[質問4の内容]

あなたは、結婚式は大安の日に行うとか、葬式は友引に出さないとか、清め塩などの因習や迷信をどう思いますか。あなたの考えに近いものを選んでください。

1. 昔からの言い伝えやしきたりを守るのは当然のことと思う。
2. おかしいと思うが周りと同じようにしている。
3. 因習や迷信に惑（まど）わされしないで、間違っていることは改めたい。

部落問題の起源を因習や血筋に求めたりする実態が今もある。このクロス集計では、被差別部落の人と被差別部落外の人との結婚の賛否について、「六曜」に対する考え方の違いによる意識や態度の傾向をみた。

| 質問4 \ 質問15 | 1 賛成する | | 2 反対する | | 無回答 | | 計 |
|------------------|--------|-------|--------|-------|-----|-------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | |
| 1. しきたりを守るのは当然 | 363 | 68.1% | 105 | 19.7% | 65 | 12.2% | 533 |
| 2. 周りと同じようにしている | 302 | 77.0% | 47 | 12.0% | 43 | 11.0% | 392 |
| 3. 間違っていることは改めたい | 393 | 83.6% | 34 | 7.2% | 43 | 9.1% | 470 |
| 無回答 | 27 | 65.9% | 5 | 12.2% | 9 | 22.0% | 41 |
| | | | | | | | 1,436 |



<分析>

○ 「六曜」などの因習や迷信を「間違っていることは改めたい」と答えた人は31.5%、そのうち被差別部落の人と被差別部落外の人との結婚に「賛成する」とする人は83.6%である。これは、全体での75.6%に比べ8.0ポイント高く、「しきたりを守るのは当然」と答えた人の68.1%と比べ15.5ポイント、「周りと同じようにしている」と答えた人の77.0%と比べ6.6ポイントそれぞれ高い。

一方、結婚に「反対する」と答えたのは、「間違っていることは改めたい」とする人では7.2%である。これは、全体での13.3%と比べ6.1ポイント低い。そして、「しきたりを守るのは当然」とする人の19.7%に比べ12.5ポイント、「周りと同じようにしている」とする人の12.0%に比べ4.8ポイントそれぞれ低い。

「六曜」に配慮する生活意識の強い人は、結婚について約20%が「反対する」と答え、「六曜」への配慮を否定している人は、結婚について約84%が「賛成する」と答えている。ただ、「六曜」を容認、同調している人は、町民全体の意思とほぼ同じ傾向である。

【質問15（結婚についてどう思うか）と、質問5-1（身元調査〔結婚〕）との関連】

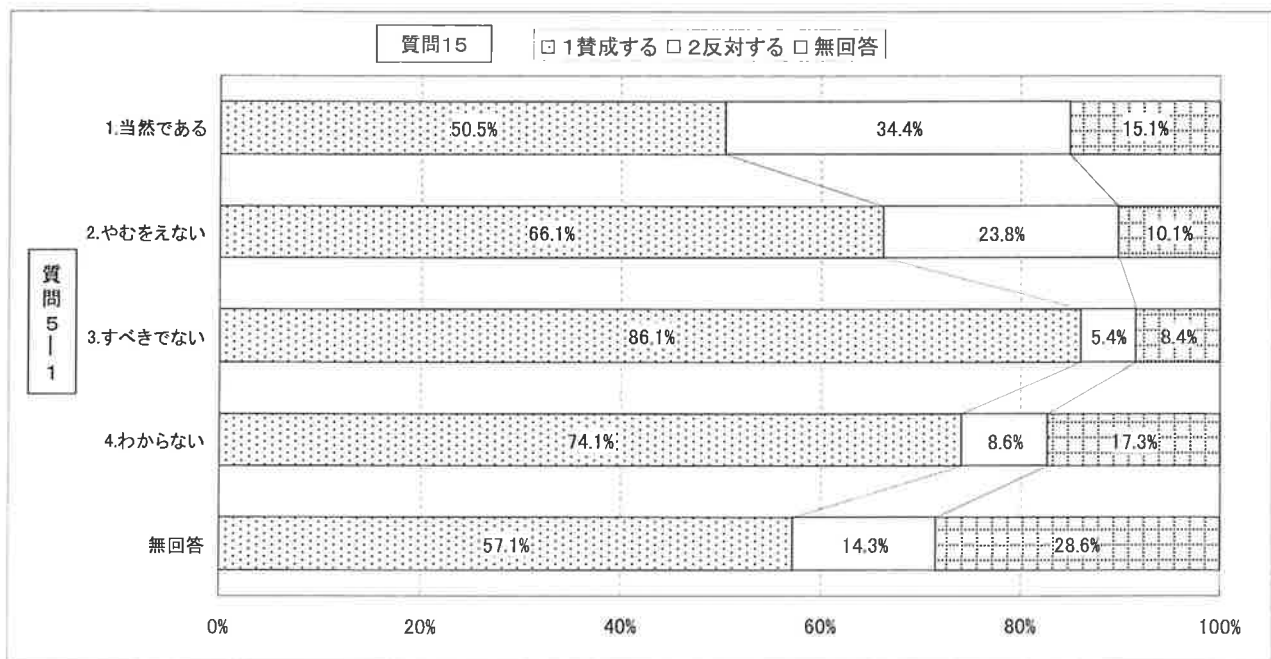
[質問5-1の内容]

結婚のとき、家柄・財産、家族の仕事や地位などの身元調査をすることを、あなたはどのように思いますか。

- 1. 当然である。
- 2. やむをえない。
- 3. すべきでない。
- 4. わからない。

このクロス集計では、被差別部落の人と被差別部落外の人との結婚の賛否について、身元調査に対する認識の違いによる意識や態度の傾向をみた。

| 質問15 質問5-1 | 1 賛成する | | 2 反対する | | 無回答 | | 計 |
|---------------|--------|-------|--------|-------|-----|-------|-------|
| | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | 人数 | 割合 | |
| 1. 当然である | 47 | 50.5% | 32 | 34.4% | 14 | 15.1% | 93 |
| 2. やむをえない | 275 | 66.1% | 99 | 23.8% | 42 | 10.1% | 416 |
| 3. すべきでない | 571 | 86.1% | 36 | 5.4% | 56 | 8.4% | 663 |
| 4. わからない | 180 | 74.1% | 21 | 8.6% | 42 | 17.3% | 243 |
| 無回答 | 12 | 57.1% | 3 | 14.3% | 6 | 28.6% | 21 |
| | | | | | | | 1,436 |



<分析>

- 人権侵害である結婚に関わる身元調査を「すべきでない」と否定している人は、被差別部落の人と被差別部落外の人との結婚について86.1%が「賛成する」と答えている。これは、身元調査を「当然である」と肯定している人の50.5%に比べ35.5ポイントも高い。身元調査は「当然である」と肯定している人の34.4%は結婚に「反対する」と答えており、身元調査は「すべきでない」と否定している人の5.4%に比べ29.0ポイントも高い。結婚について身元調査を肯定している人の約1/3及び「やむをえない」と身元調査を容認している人の約1/4は「反対する」と答えている。

【考察】

- ◎ 被差別部落の人と被差別部落外の人との結婚に「賛成する」と答えている人は全体では75.6%であるが、40才代以下と50才代以上では意識の違いが顕著であり、また、地区別でも成美地区及び浦安地区と他地区とでは約7~20ポイントの差がある。

クロス集計結果から、結婚に関わる身元調査を「すべきでない」とする態度及び、「六曜」を「間違っていることは改めたい」とする態度は、結婚に「賛成する」態度と相関している。

身元調査の慣行や「六曜」などの迷信や因習は、社会意識や暮らしの仕組みに根強く固持され、それに縛られた生活や態度は部落差別をはじめ様々な偏見や差別を温存、助長することにほかならない。人権を守り育てる態度をもった社会や個人を育て、一人ひとりが自己実現していくことができる人権が尊重される社会の確立のため、学習内容や啓発の課題として取り組む必要がある。

差別とは何か、どんな時に、どんな場所や方法で、誰が、どんな目的や内容で発生するかわからない。そして、いつ、誰が、なぜ、その打撃や不利益を被るのかもわからない。しかし、いかなる理由があれ差別は許されない。人権尊重の大切さや、差別の現実や恐ろしさに無関心、無頓着であれば、身元調査という差別の事実にも気づかずに過ごしてしまう。日常的な交際の中での「ここだけの話しだけ」から始まる噂話などの無責任な会話の中にさえ差別につながりかねない内容が含まれており、事象の相関関係を学習することも必要である。